【最終報告会 会場】

熊本県立熊本はばたき高等支援学校 体育館

「定員：400人」

「所在地」

〒862-0901

熊本市東区東町 3丁目14番3号

TEL:096-331-5656 FAX:096-360-0770

HP:http://sh.higo.ed.jp/habataki/

熊本はばたき高等支援学校へのアクセス



約44分 熊本 JR8分 水前寺 徒歩3分 新水前寺駅前 市電13分 健軍町 徒歩20分 熊本はばたき高等支援学校

約50分 上熊本 JR5分 熊本 市電44分 健軍町

※お車でお越しの方は、熊本はばたき高等支援学校以外にも、近くの盲学校、熊本聾学校及び近隣施設に合わせて250台ほど駐車が可能ですが、混雑を避けるためにできるだけ乗り合わせてお越し下さい。

お問い合わせ

「事務局校」熊本県立熊本支援学校（担当者：木下敏英）

住所 〒862-0941 熊本市中央区出水5丁目5番16号

TEL 096-371-2323 FAX 096-371-0078

学校ホームページ http://sh.higo.ed.jp/kumamoto-s/

メールアドレス kumamoto-s@pref.kumamoto.lg.jp



熊本はばたき高等支援学校 新校舎
（2019年9月末完成予定）

最終報告会日程

【期日】

令和２年(2020年)１月25日（土）

9:00～16:20

【日程】

1 受付(玄関入口) 9:00～9:30

2 開会・日程説明 9:30～9:50

3 研究成果報告 9:50～10:30

研究報告、質疑応答

4 3校での取組 10:45～12:20

各校の発表、質疑応答

5 実践報告 13:20～14:30

ポスターセッション

6 講演 14:45～16:00

演題：「知的障害特別支援学校のカリキュラム・マネジメントの充実」

講師 一木 薫 氏

福岡教育大学教育学部特別支援教育ユニット

教授

7 閉会 16:10～16:20

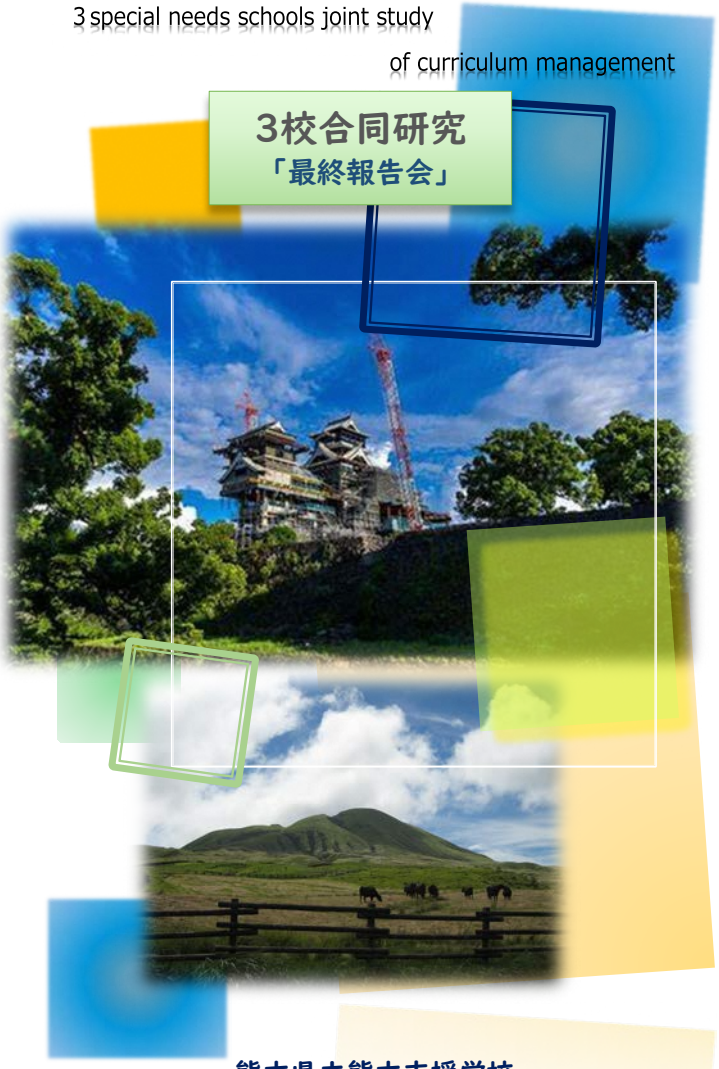
文部科学省「特別支援教育に関する実践研究充実事業
(次期学習指導要領に向けた実践研究)」

知的障害特別支援学校のカリキュラム・マネジメントに関する研究

～学習評価を指導計画につなぐ教育課程の構造化と各教科内容表の活用によるカリキュラム・マネジメントの充実～

3 special needs schools joint study of curriculum management

3校合同研究「最終報告会」



熊本県立熊本支援学校
熊本県立菊池支援学校
熊本県立荒尾支援学校

令和２年（2020年）１月25日

知的障害特別支援学校のカリキュラムマネジメントに関する研究

～学習評価を指導計画につなぐ教育課程の構造化と各教科内容表の活用によるカリキュラム・マネジメントの実際～

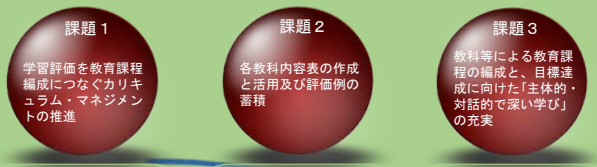
本研究の概要

研究の目的

教育課程編成を進める校内組織や手続き等を整理するとともに、特別支援学校学習指導要領の目標及び内容を見渡すことができる「各教科内容表」を活用することにより、知的障害のある児童生徒に各教科等を計画的に指導できるカリキュラム・マネジメントを進める。さらに、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善により、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養を図る。

研究の方法

研究の目的を達成するために三つの課題を設けて、３年間の研究期間で取り組む。



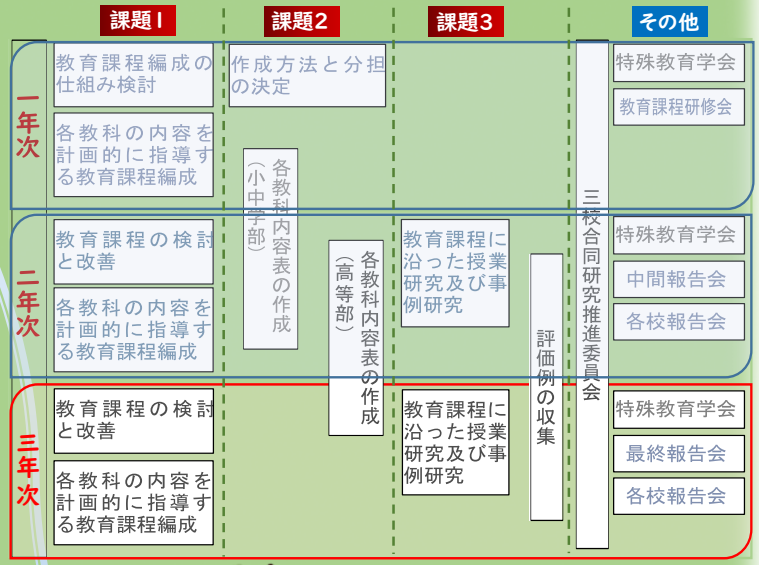
教育課程改善に取り組む校内組織や手続き、スケジュール等のつながりを整理して、学習評価を指導計画や教育課程の改善に結びつける道筋を構造的に示すとともに他校の参考となる教育課程改善事例を提供する。

各教科の内容を全体的に捉える資料（各教科内容表）を作成し、学習指導要領を参照する手がかりにするとともに、指導計画作成に活用する。さらに、教科の内容に沿った評価例の蓄積につなげる。

各教科等の内容と配当時間により教育課程を編成する。さらに、教科別の指導と各教科等を合わせた指導を適切に組み合わせる等しながら、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を図り、事例研究を深める。

研究の計画

今回が本研究の最終年となる。



手続き

課題１について

CHECK!

新学習指導要領では、個別の指導計画の実施状況の評価と改善を、教育課程の評価と改善につなげる工夫が求められている。そこで、教育の目的・目標と個別の目標設定へのつながりを整理した。さらに、以下の観点に留意しながら、個別の指導計画の評価や学習評価を教育課程改善に生かすカリキュラム・マネジメントを進めた。

①個別の指導計画の作成と活用についての共通理解をどのように図っているか。
②教育課程改善と個別の指導計画の目標設定・評価がつながる仕組みをどのように作っているか。また、教育課程の検討スケジュールと体制にどのように組み入れているか。
③題材研究や授業研究にとどまらず、卒業後指導等からの多様な情報を教育課程改善に生かすことはできているか。

課題２について

CHECK!

新特別支援学校学習指導要領では各教科の各学部各段階までの目標及び内容が「知識及び技能」，「思考力，判断力，表現力等」，「学びに向かう力，人間性等」の三つの柱で整理されているが、児童生徒に各教科の内容を計画的に指導するためには、各教科の各学部各段階までの目標及び内容の全体像を捉えられるようにすることが必要である。そこで、本研究では、各教科等の目標・内容の全体像を捉える資料（各教科内容表）を作成した。昨年度の中間報告会では、各教科の目標及び内容の構成に触れながら、小・中学部各段階の「各教科内容表」及び、三校での活用例を紹介した。最終年となる今年度は、各教科の目標及び指導内容に沿った指導目標を設けての、授業研究、事例研究を行うとともに、この指導を通して、三本の柱に沿った評価例を集積する。

課題３について

CHECK!

本県知的障がい特別支援学校では、学習指導要領が示す内容を十分に学ぶ教育課程となるよう、各教科等と配当時間教育課程を編成することとした。三校でも、このことに沿って、各教科の内容を計画的に学ぶ教育課程の編成を行っている。昨年度の中間報告会では、各校の教育課程改善の状況及び、各教科の目標達成に向けた指導の充実を報告した。熊本支援学校は、資質・能力の３観点に基づいた目標設定と評価を定めて事例研究を行い、「思考力、判断力、表現力等」について、指導の手立てや展開を明記するようにした。荒尾支援学校は、資質・能力の３観点に沿った目標や評価規準を定めながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を行った。菊池支援学校は、国語科に焦点を当てて、グループ編成を工夫して指導を進めた。各教科内容表を活用して、取り扱う学習内容を確認しながら指導を進めることで、「何を学ぶのか」について意識を高め指導を積み上げた。最終年となる今年度は、三校がそれぞれ自校での実践の報告を行う。

各校の公開授業研究会は以下の通りです。

熊本県立熊本支援学校



【学校所在地】
〒862-0941
熊本県熊本市中央区出水 5-5-16
☎(096)371-2323
Fax(096)371-0078
【HP】http://sh.higo.ed.jp/kumamoto-s
【E-mail】kumamoto-s@pref.kumamoto.lg.jp

☆実践発表
「公開授業研究会」
期日：令和元年11月29日(金)

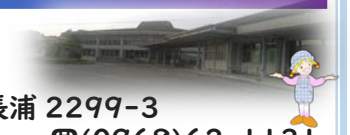
熊本県立菊池支援学校



【学校所在地】
〒861-1101
熊本県合志市合生 4300
☎(096)242-0069
Fax(096)242-0200
【HP】http://sh.higo.ed.jp/kikuchi-s
【E-mail】kikuchi-s@pref.kumamoto.lg.jp

☆実践発表
「公開授業研究会」
期日：令和元年12月13日(金)

熊本県立荒尾支援学校



【学校所在地】
〒864-0032
熊本県荒尾市増永字西長浦 2299-3
☎(0968)62-1131
Fax(0968)69-1064
【HP】http://sh.higo.ed.jp/arao-s
【E-mail】arao-s@pref.kumamoto.lg.jp

☆実践発表
「公開授業研究会」
期日：令和元年12月14日(土)